

# ライブ러리紹介52

『進化のからくり』対象学年／中学生  
通常右巻きのヒメリンゴマイマイの殻を左巻きにする遺伝子の仕組みとはどのようなものか。日本に十八種いるカワナという貝のうち、十五種が琵琶湖に棲息するのはなぜか。他の環境から隔離された小笠原諸島のマイマイにおいて、進化の過程はどのように解明かされるのか…。

こうした問いの答えを見つけるために、進化生物学者たちは、SNSやテレビを利用して左巻キマイマイのパートナーを募集します。そして、日本のみならず韓国のカワナも集め、ボロボロになりながら母島の未踏の断崖に陸員を求めて入っていきます。こうした地道な採集と遺伝子の分析から得た知見が、生物の謎にせまっていくさまは、わくわくせずにはいられません。

進化学の知見が安易かつ恣意的に人間や社会に当てはめられる怖さは、かつての優生政策や現代医療における安楽死、デザインペイトといったトピックスからも想起せずにはいられません。しかし、学者たちの誠実な取り組みについて知ると、私たちは科学と正しく向き合っていくべきと、希望もわいてきます。



千葉聡 著  
講談社

(桑野)

## Vol.52

# コクゴのチカラ

松校塾 662-0036 西宮市大井手町 3-11 夙川ビル 2F  
TEL 0798-74-2801 FAX 0798-74-8686  
info@glt-shouou.com http://www.glt-shouou.com/ 2024年9月30日発行(第52号)

# イベントのお知らせ

## 📖 親だつて松校塾! 『秋の読書会』

昨年好評だった秋の読書会、今年も開催いたします。本は内容の面白さはもちろん、読み手に新しい知識を授けてくれたり、何かについて考えるきっかけを与えてくれたりします。この機会にぜひ一緒に新しい世界をのぞきませんか。

日時: 10月27日(日) 10:30~12:30  
対象: 保護者(ごなだも) 料金: 1650円(税込)

## 👨‍👩‍👧 親の会 算数『文章題 SOS!』 国語『記述 SOS!』

なぜ分からないのか、どうしてそんな解き方をするのか、子どもたちを見ていると不思議がいっぱいです。国語も算数も考え方や理屈がわかれば、子どもたちが何に困っていますのか理解することが出来ます。そして、そこから解決に向けて協力することが可能です。お子さまのお悩みを解決したい方、ご参加お待ちしております。

日時: 12月1日(日) 10:30~12:30  
対象: 保護者(ごなだも) 料金: 1650円(税込)

## 「考える」のチカラ

よく考えなさい、とよく言われます。「考える」とは具体的にどうすることなのか。どのような態度であれば「よく考えている」となるのでしょうか。

「考える」ことのある成果を見出すには、「論理的に考える」と「科学的」である必要があります。「論理的に考える」とは、一つの事象からある結論を得るときに、ひとつひとつ思考の流れの確認ができていく状態です。状況設定・前提条件から書き始め、展開させ、帰結させる。「そして」「すなわち」「だから」のような接続詞を用いて説明できるようなになるのが論理の第一歩ですね。特に「だから」ここから原因と結果を結びつける考え方が重要です。たとえば、「源氏物語」は平安時代に紫式部によって書かれた」ということは丸暗記する人が多いと思います。しかし、「平安時代にひらがなが使われ出した」「ひらがなは日本語を表現しやすい」「ひらがなを用いて多く文章が書かれ、創作物語なども作られるようになった」など経緯をふくめて論理的に考えることもできます。問題集などで「答え・結論だけを早く答えられるようになる練習」ではなく、論理力は鍛えられません。

では、「科学的」とはどのようなことでしょうか。客観性と再現可能性があること、つまり、誰でも同じことをすると同じ結果を見出せることが要件です。だから、同じことを別の人が試せるように、根拠と解釈に至る順序を説明しなくてはなりません。これを読み取れるようになる練習が国語です。本文にこんなことが書いてあったか、それをどう解釈するかという、正確な読み取り、自分で組み立てていく構築力が求められます。「生物は本能と

# レギュラー生への案内

## 📅 月謝引き落とし

11月度 10月28日(月)  
12月度 11月27日(水)

## 📅 祝日による休塾日

11月4日(月) 文化の日(振替休日)  
11月23日(土) 勤労感謝の日

\*土曜の通塾生は授業を振り替えてください。

## 📅 授業数調整による休塾期間

10月14日(月・祝)~10月19日(土)  
\*この期間の振替は必要ありません。

## 📅 懇談期間

10月28日(月)~11月9日(土)  
\*改めてご案内いたします。

最後までお読みいただきありがとうございます。ご意見・ご感想などぜひお聞かせください。また、本紙の送付がご不要の場合、下記QRコードよりお手続きください。



知能を持っている(例えば、渡り鳥は教わらなくても渡りの時期とルートをまちがえない)「しかし、本能は機械的な行動なので、想定外のことがあると行動を誤る」それに対し、知能は「〜」という具合です。「根拠」「解釈」が分かるには、前提となる知識・教養や常識が必要とされます。これは、学年・年齢が上がるにつれてどんどん増えていきます。だから、分からないことばこそがそのままだしておくとどんどん読めなくなってしまう。本番を想定した演習では、分からないまま「点数」を取るといふ練習になるので、これを繰り返すだけでは成長は見込めません。読解力には「量より質」が求められます。

ハレンケラーは、ピースを糸に通しかねて悩んでいるときに、サリバン先生に「think」と指でなぞられ、「考える」ということを学んだそうです。「考える」とは正解することではありません。試行錯誤し、「〜だから」と筋道をつけていき、同じようなことに対してより上手にいく過程のことです。「考えなさい」と言いつつも、忙しく考えさせない「ようにしむけてしまう」ともありますね。ゆっくり、じっくり考える体験を重ね、かけがえのない能力を身につけましょう。(松木)

- 一面 『考える』
- 二面 『卒業生の証』
- 三面 『ライブ러리紹介52』
- 四画 『イベントのお知らせ』



『レギュラー生への案内』

# 卒業生の声

まだまだ暑い日が続いていますが、暦の上では秋がやってきました。今年の受験シーズンを前に、昨年度の受験結果の追加報告をいたします。みなさん、うれしいご報告ありがとうございます。大学生活を楽しんでください！

## 2024年度大学受験結果報告 確定版

- 甲南大学(理工学部)
- 同志社大学(理工学部)
- 関西学院大学(社会学部)(経済学部)
- 聖心女子大学(現代教養学部)
- 上智大学(外国語学部)
- 広島国際大学(看護学部)
- 摂南大学(薬学部)
- 神戸薬科大学
- 東北大学(工学部)
- 近畿大学(医学部)
- 早稲田大学(文学部)
- (先進理工学部・生命医科学科)
- 京都大学(工学部)
- 神戸大学(工学部)
- 山形大学(医学部)
- 北海道大学(農学部)



先輩たちに合格体験記を寄せてもらいました。松校塾の学習でどんな力が身につくのか、どんな勉強が最終的な力となるのか、ぜひ参考になさってください。

### H・Aくん 東北大学工学部



私は松校塾で文章の要約から哲学的思考方法の学習、評論文の問題演習に取り組みました。文章を読み、そして自分で文章を書くことには苦手意識がありました。しかし、学習を続けていくうちに、楽しみを感じられるようになり、苦手意識が薄らいでいきました。受験で国語を利用することはあまりありませんでしたが、松校塾で学んだことは読書をしたり、スピーチをしたりするときに活かされていると思います。これからもその力を存分に発揮したいと思います。



### A.Sくん 近畿大学 医学部

私は中3から松校塾に通い始めました。今まで本を読んでこなかったのが、読解力がなく、入塾当初は国語力が小学生レベルでした。入塾後、基礎から地道に1ツコツと文章を読み、書かれてあることを整理して要約する習慣をつけていきました。特に印象的だったのは、「コボちゃん」です。四コマ漫画を用いた授業はとても刺激的で楽しく論理的に文章を構築する力を

養うことができたと思います。そして、学習段階が進むにつれ、文章の内容も難しくなり、理解にますますことも多々ありました。しかし、先生方がひとつひとつ丁寧にわかりやすく、時には図などを用いて説明してくださったおかげで、かなり読解力・記述力を伸ばすことができました。受験期には、共通テストや医学部小論文の対策もすっかりしてもらいました。そして、最終的に近畿大学医学部医学科に合格することができました。松校塾で教わったことは、大学受験だけでなく、大学入学後も大切なものだと思います。私はここで習ったこと、身につけたことをしっかりと今後の人生に活かしていきたいと思えます。本当にご指導ありがとうございました。



### T・Kくん 早稲田大学文学部

私は高校2年生の3月に松校塾に入りました。国立大学を目指して入塾したものの、受験勉強を開始したのがその年の9月と遅めだったため、当初はかなり厳しい状態でした。加えて、数学が苦手な為に成績も思うように上がらず、途中で志望校を私立大学に変更しました。そして、勉強に対して自信を失いかけていました。しかし、3科目に絞って勉強をするうちに次第に成績が伸び、これまで難しくて射程に入れていなかった大学を目指すことにしました。そのため、松校塾では現代文と古典の指導をしても

らいました。現代文は基礎を固めるために、理解できるまで徹底的に取り組みました。古典に関しては、高3の10月時点で、自分は文法が全く出来ていないというのに気付かされ、大急ぎで基礎を詰め込んでもらい、なんとか本番までに間に合わせる事が出来ました。

松校塾では受験勉強に役立つものだけでなく、文章を正しく理解する力、分かりやすく伝える術といった大学での学びにも役立つものも教えて貰いました。先生方には感謝しかありません。ご指導、ありがとうございます。

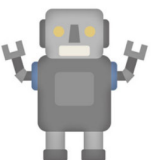


### O・Kくん 神戸大学工学部

僕は五年間、週に一回松校塾に通っていました。週い始めた時は、本当に国語が出来ませんでした。中学生のときに受けた模試の国語の点数でクラス最下位をとったくらいです。また、小学校の時から全くといっていいほど、本を読んでいませんでした。ですが、松校塾に通うことで、様々な文章に触れる機会を得ることができました。そして、少なくとも四〇〇字程度、その文章について記述をしていました。これらの学習を通して、文章をまとめる力のみではなく、正確に読む力、すばやく要旨をつかむ力も向上していきました。例えば、僕の共通テストの国語の点数は、二〇〇点満点中一八九点で、そのうち現代文は、一〇〇点満点中

九四点でした。あんなに国語ができなかったのに、ここまで点数がとれたのは、松校塾での経験があったからです。これが、アドバンテージになり、楽な気持ちで二次試験を受けることができ、大学に合格することができました。

ただ、力がついたといっても、そう簡単に伸びたわけではありませんでした。一回一回の授業の内容は難しく、長い期間通っても、先生の添削は多かったです。頑張っているのに、直す箇所が多くて、辛い思いをしたこともあります。それでも諦めず、先生のアドバイスを受けることで、少しずつ良くなっていきましました。松校塾で学んだことは、大学受験に限らず、レポートの作成など、この先も役に立つものです。もし松校塾で学んでいなければ、下手な文章しか書けず、中学、高校時代にやらなかったことを後悔していたでしょう。ここまで僕を伸ばしてくれた先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。



### K・Sくん 京都大学工学部

こんにちは。ぼくは小学校から受験直前までこの松校塾に通わせていただきました。ちなみに理系大学生です。工学部志望なのに国語の塾に通い続けたというのは自分でもおかしいとは思いますが、それには理由がありました。合格のためという以上に今後の人生に役立つと思ったからです。そこに至るまでの経緯

も含めてこれからお話しします。

実は、僕も高校三年生になるタイミングでこの塾を辞めようと思っていました。高二の冬に解いた京大数学は全く満点、物理化学も英語も当時の高三生と遜色ないレベルでした。ただ、国語だけはダメダメで、小学校からこの塾に通い続けた意味があったのか、切り捨てても問題ないのではないかと悩む夜もありました。

しかしある日、数学の問題を解いていて気がつきました。僕が数学が得意なのは、松校塾のおかげであるということに。もちろん、国語を完成していなかった僕が言えることではないですし、お前はたまたま数学が得意だっただけだと言われるかもしれません。けれど、より根本的な思考の部分、つまり、論理的に考えるという能力が他の人より秀でていたのは事実で、それが松校塾での学習の結果だということはおぼろげに感じます。ほんの少しの手を抜いていた時期があったので、最後まで日本語が下手くそでしたが、真面目に通っていたら、もっと言葉の力が養われていたかと思えます。論理的思考と言語運用能力を同時に身に付けられる。そういう意味で文理や小中高の差を問わずに通える塾だと僕は思います。十年間ありがとうございました！

